

Publication of Unexamined Utility Model Application

Publication Number: H6-18228

Container for carrying

Provided is a container for carrying which can be reused without effort and cost.

A container for carrying 10 consisting of an rectangular outer box 16 with an openable face having flaps 14 which can be folded down to the inside of the outer box 16, and of an inner box 22 which has an open upper face and can be put into and drawn out of the outer box 16 from the face having flaps 14.

(19) 日本国特許庁 (JP)

公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平 6-18228

(43) 公開日 平成 6 年 (1994) 3 月 8 日

(51) Int.Cl.⁵

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B65D 5/38

B 6540-3E

審査請求 有 請求項の数 1 (全 2 頁)

(21) 出願番号 実開平 4-20288

(71) 出願人 392006008

(22) 出願日 平成 4 年 (1992) 3 月 4 日

有限会社上條紙器工業

長野県松本市大字大村 189-1

(72) 考案者 上條 泰司

長野県松本市大字大村 189 の 1

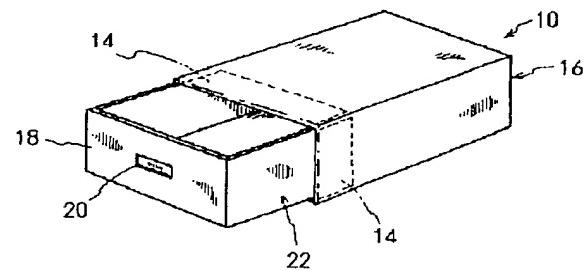
(74) 代理人 弁理士 綿貫 隆夫 (外 1 名)

(54) 【考案の名称】 運搬用パック

(57) 【要約】

【目的】 労力や経費をかけることなく再利用できる運搬用パックを提供することにある。

【構成】 中空の直方体に形成された外箱 16 と、外箱 16 の少なくとも 1 面を開閉可能であると共に、内側へ折り込み可能に設けられたフランプ 14 と、上面が開放された箱状に形成され、フランプ 14 により開閉可能な面から外箱 16 内へ出し入れ可能な内箱 22 を具備するこを特徴とする運搬用パック 10。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 中空の直方体に形成された外箱と、該外箱の少なくとも 1 面を開閉可能であると共に、内側へ折り込み可能に設けられたラップと、上面が開放された箱状に形成され、前記ラップにより開閉可能な面から前記外箱内へ出し入れ可能な内箱とを具備するこを特徴とする運搬用パック。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案に係る運搬用パックの第 1 の実施例の斜視図である（再利用時を示す）。

【図 2】 図 1 の運搬用パックの外箱の開口する側部の拡大図である。

【図 3】 図 1 の運搬用パックが梱包された際の斜視図である。

【図 4】 図 3 の運搬用パックの外箱を開き、内箱を引き出した際の斜視図である。

【図 5】 本考案に係る運搬用パックの第 2 の実施例の斜視図である（再利用時を示す）。

【符号の説明】

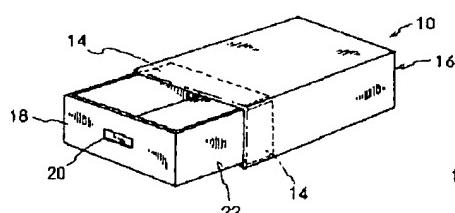
10 運搬用パック

14 ラップ

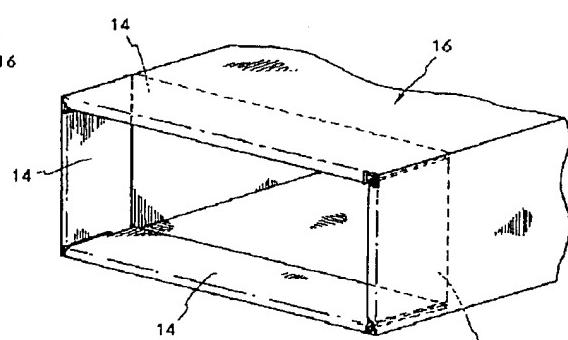
16 外箱

22 内箱

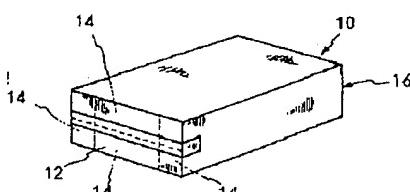
【図 1】



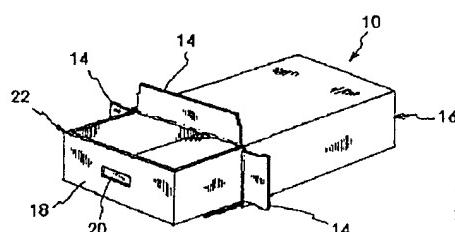
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

